

ピーマン



ピーマンの収穫時期は10月上旬から5月



最近のピーマンは、昔と違って甘くなっています



温度調節ができるビニールハウスで栽培されているピーマン

鹿児島県は、茨城や宮崎などに次ぐ全国でも有数のピーマンの産地で、その大部分は大隅半島で生産されています。鹿屋市では、串良地区や吾平地区を中心に31戸の農家が約8.2haのビニールハウスでピーマンを生産。県の『かごしまブランド産地』の指定を受けている東串良町の東串良町園芸振興会ピーマン部会の協力のもと『東串良のピーマン』としてブランドの維持拡大に取り組んでいます。子供たちが苦手とする野菜の一つとして名前が挙がることも多いピーマンですが、最近のピーマンは昔と違って

インタビュー



農薬を使わないで、おいしいピーマンを作りたい

南之原 裕晶さん(37歳) 串良町有里

親の後を継いで6年。ビニールハウス11棟、30aでピーマンを生産しています。

私のモットーは「安心・安全でおいしいピーマンを生産すること」。ピーマンの病気は伝染が早く処置が遅れるとハウス全体のピーマンが駄目になってしまうことにもなりかねませんが、できる限り農薬を使わず、毎朝一棟一棟しっかり見て回することで、病気にならないように細心の注意を払っています。

苦労はしても、安心して食べられる安全なピーマンを生産し続けたいですね。

【問い合わせ】

市農政課 0994-311117

たいへん甘く、美しい色合いは料理の色どりに欠かすことはできません。油炒めや肉詰め料理、サラダや揚げ物、煮物にもなり、和・洋・中を問わず多くの料理に利用されています。風邪や感染症の予防対策、美容に威力を発揮するビタミンCをはじめ、毛細血管を丈夫にするビタミンPやコレステロールの低下作用で知られる葉緑素が含まれており、高血圧や動脈硬化予防にも効果がある健康野菜です。

データ

平成17年度全国のピーマン出荷量(t)		平成17年度県内JA別ピーマン出荷量(t)	
茨城県	15,878	鹿児島きもつき(旧根占町を除く)	4,934
宮崎県	14,748	そお鹿児島	2,071
鹿児島県	8,313	南さつま加世田	590
高知県	7,721		

データは鹿児島県経済連より提供